

第3章 予讃線（今治～伊予長浜）

第1節 旅プラン

第362回目～第364回目のウォーキングは、盆休みを活用し、予讃線を次の日程で歩く。

① 平成25年8月10日（土） 晴れ

家内と一緒に、新横浜12時59分発ののぞみ173号（博多行き：4号車16D・16E）に乗り、岡山駅、高松駅経由で実家へ。実家には18時半頃到着。



② 8月11日（日）～8月13日（火） 晴れ

実家に滞在し、
墓参り、同級会、大窪寺参拝、休養等



③ 8月14日（水） 晴れ

朝墓参りし、高松9時51分発マリンライナー20号で坂出（10時5分）まで家内と一緒にの旅。坂出で家内と別れて、観音寺10時21分発の電車で松山に向かう。東横イン松山に宿泊。松山市内観光もかね、道後温泉や松山城散策。



- ④ 8月15日(木) 晴れ
伊予長浜=松山(38.7 km) 踏破、東横イン松山泊。
- ⑤ 8月16日(金) 晴れ
今治=柳原(34.2 km) 踏破、東横イン泊。
- ⑥ 8月17日(土) 晴れ
松山=柳原(15.3 km) 踏破、実家へ。
- ⑦ 8月18日(日) 晴れ
井戸駅の10時52分の電車で高松築港駅へ。連絡船うどんを食べ、
岡山13時25分発のぞみ130号(14号車3E)で新横浜(16時34分)へ。
自宅には17時40分頃到着。隣には3歳~4歳児の親子連れであった。ビデオを岡山~
新横浜まで見ていた。

第2節 1日目：8月14日(水)：観光 晴れ

2023年8月14日(水)、6時半頃、母と家内と一緒に真行寺にあるお墓を参る。そして、8時過ぎ実家を出る。宅急便とガソリンを補給して、高松駅前のレンタカー屋に車を返す。高松駅で青春18きっぷの手続きをし、連絡船うどんを食べ、高松9時51分発のマリンライナー20号で坂出駅へ。ここで家内と別れ、私は次のダイヤで松山まで向かう。



高松駅



坂出駅

坂出 10時21分 → 観音寺 11時13分

観音寺 11時39分 → 松山 14時57分

電車での多度津から観音寺までの旅は、初めて。香川に住んでいながらおかしな話であるが。坂出から観音寺までの車両は2両（もしかすると3両）であった。観音寺で少し待ち合わせ時間があったので菓子パンを購入し昼食の代用とする。観音寺駅が意外に大きいのに驚いたが、一方でうどん県を訴えているのにも関わらず、立ち食いうどん屋がないのが残念であった。観音寺からは1両編成のワンマンカーであった。



観音寺駅



車掌さんにお尋ねしたところ、伊予市までは電化されたとのことであった。また、帰り高松駅で聞いたところ、瀬戸大橋線を除き1992年に電化になったとのことであった。1両編成の車両のドアは左右に3個ずつあった。そして、前と後ろにそれぞれボックス席（4×3+4）と長椅子席があった。創意工夫した座席であった。単線のため、また特急電車通過のため、待ち合わせ時間が多くなる。通算で1時間近くあったかも知れない。愛媛県への足の踏み入れは初めてなので感動。あたかも外国旅行でもしているような心境となる。川之江はこれまで香川県と思っていた。恥ずかし限りである。伊予三島、新居浜、伊予西条、今治、伊予北条、そして終着の松山駅となる。瀬戸内海の穏やかな海岸線を楽しむことができる。途中駅の三津浜駅辺りから伊予鉄道と並走となる。松山には14時57分に到着。



松山駅

松山駅を数枚デジカメに収め、路面電車で2 km先の勝山町に向かう。路面電車の運賃は一律150円（こども80円）であった。50m位戻ったところに、本日から3泊する東横イン松山があった。15時40分、608号室に到着。ホテルで入浴セットを貸してもらい、路面電車で道後温泉まで向かう。道後温泉には16時10分頃到着。



道後温泉駅



坊ちゃん列車

道後温泉

駅前には坊ちゃん列車があった。観光客の方にこの列車の前で記念写真（16時12分）を撮ってもらう。商店街を通り、道後温泉本館（16時20分）へ。沢山の観光客が休憩室等を求めて長蛇の列ができていた。私は入浴のみ（400円）とする。石鹸40円は蛇足であった。

東横インで用意して頂いていたからである。15分位入浴する。入浴後、道後温泉本館前で写真（16時43分）を撮ってもらう風呂上がりに。商店街でソフトクリームを購入。歩いて東横イン（17時半到着）に向かう。洗面用具を返し、松山城を散策することにする。



商店街からの道後温泉 坂の上の雲 PR

17時38分、「坂の上の雲」もまち松山前を通過。この先に松山城まで上るロープウェイがあるとのことであったが、私は坂道を上ることにする。松山城は標高132mの勝山山頂にあった。勝山山頂には17時59分到着。夏祭りのイベントがあった。琴でのAKB48の歌も聞こえてきた。



松山城





松山城



朝の松山市

18時1分、松山城（重要文化財）を背景に写真を撮って頂く。500円の拝観料を支払い、加藤嘉明が築城した松山城に入る。18時17分、天守閣のところで記念写真を撮って頂く。いい風が入ってきた。暫く城内をする。城を出たイベント会場で生ビール（500円）を飲む。火照った体を冷やしてくれた。18時33分、西日をデジカメに収め、松山城を後にする。ホテルの近くのすき家で夕食とする。明日の朝食と酒のつまみを購入しホテルへ。ホテルには19時50分到着。統計には入れないが、万歩計は22,713歩となった。

第3節 2日目：8月15日（木）：伊予長浜～松山 晴れ

伊予長浜(7:20)～喜多灘(8:52)～串(9:54)～下灘(10:45)～伊予上灘(13:3)
～高野川(14:21)～向井原(16:02)～伊予市(16:53)～島ノ木(17:22)～伊予横田(18:05)
～南伊予(新設)～北伊予(19:00)～市坪(20:12)～松山(22:13)

朝4時に起床し、本日の準備をする。宇和島行の始発（6時4分）で38.7km先の伊予長浜駅に向かうこととする。昨夜購入したサンドイッチと牛乳で朝食とする。路面電車が6時過ぎしかないの、市内観光も兼ね、松山駅まで30分位要し歩くことにする。昨日登った松山城、そして城山公園の南堀端通り（5時30分）を經由して、JR松山駅に向かう。駅には5時50分頃到着。3番ホームに2両編成の電車（白とブルー）が入って来る。すべてボックス席であった。車両はがらがらであった。松山から伊予市までは電化、そこから先は非電化となる。単線のため、待ち合わせ時間に20分位要する。風向明媚な海岸線を見ながら伊予長浜まで移動する。



松山駅



伊予長浜には7時20分到着。ここでホテルからの万歩計は4,519歩となる。駅前の風景をデジカメに収め、歩きは7時30分スタート。国道378号を歩くことにする。7時45分、松山40km、伊予市28kmの道路標識前を通過。大洲（おおす）市長浜町黒田の地名であった。7時54分、踏切を横切り日影がある歩道（国道の右）を歩く。



伊予長浜駅

この歩道は国道378号から5m～10m位上がった高台にあった。木々があり結構涼しかった。このような歩道は高野川（この）まで続く。すなわち、海岸線、鉄道、国道、歩道のポジションで高野川まで進む。8時7分、歩道が行き止まりとなり、成田谷踏切（なりただに）を横切って国道378号に戻る。下り電車がやって来る。8時12分、JR線のトンネル前を通過。国道から3m位上がったところに喜多灘駅（8時52分）があった。喜多灘

のトイレでタオルを水に濡らし、帽子に下に被る。



喜多灘駅



9時3分、双海（ふたみ）町に入る。この町は合併により、現在は大洲市となっている。9時12分、万歩計で104歩ある満野（みつの）橋を渡る。9時20分、満野踏切を横切り歩道に入る。9時28分、夕焼けこやけラインの「富貴」を通過。9時42分、串本村バス停（伊予鉄南予バス）前を通過。ダイヤは一日1便であった。9時54分、241歩ある本村大橋を通過。ここで万歩計は19,788歩となる。夕焼けこやけラインの「本村」の表示がある。



串本村 串駅近郊

9時54分、陸橋横を通過。ここから少し行った先に串駅があったと思うが、国道を歩いたため、10m位上の高台には上がれず。その関係で今回のシリーズで唯一串駅が未踏破と

なる。10時25分、民家がある通りを歩く。10時30分、夕焼けこやけラインの「上浜」を通過。JR下灘駅（500m）の看板を見つけ、豊田踏切を横切り、鉄道の右に出る。ここでのポジションは海、国道、鉄道、歩道であった。安次富さんから教えて頂いた下灘駅には10時45分到着。数人の若者の姿があった。



上浜 下灘駅案内板



下灘駅



横浜から訪れたという若者に下灘駅を背景に写真を撮ってもらう。この駅で10分程度、デジカメに美しい風景を収めるため留まる。11時18分、夕焼けこやけラインの「関住（うるすみ）」を通過。そして、11時25分、夕焼けこやけラインの「石の久保」を通過。この

辺りで松山 27 kmの道路標識がある。11 時 41 分、夕焼けこやけラインの「本谷 (ほんだに)」を通過。11 時 50 分、魚吉 (伊予市 : 089 - 989 - 0015) で釜めしを頂く。うどんと穴子てんぷら付で 1,050 円だった。この店で下灘駅にて写真を撮ってもらった若者と出くわす。ここで 25 分程度休息する。若者とこの店に趣味の名刺を渡す。



魚吉

この店を 12 時 16 分出る。少し行った先 (12 時 22 分) で日除け用に雨傘をさす。夕焼けこやけラインの「唐崎」を通過。12 時 47 分、三島神社前を通過。歩道にはかに、あなご、たい、たちうお、きす、ふぐ等の海の幸が描かれていた。13 時 3 分、伊予上灘駅に到着。



唐崎 伊予上灘駅



あなご たい ふぐ

駅は国道から 15m 位上がったところにあった。直ぐ下に道の駅「ふたみ」があった。近くに「ふたみシーサイド公園」もあり、沢山の人で賑わっていた。13 時 16 分、夕焼けこやけラインの「灘町」を通過。ここから松山まで 24 kmとあった。13 時 21 分、万歩計で 57 歩ある上灘橋 (上灘川) を渡る。近くに船があった。13 時 35 分、13 時 43 分、夕焼けこや

けラインの「城之下」「小網」を通過。14時3分、高野川の道路標識を見つけるが、ここから18分程道に迷う。鉄道が溝とトンネルとなり、道路から見えず。鉄道が非電化のため電柱がないこともあった。民家の人に聞かなければ、とんでもない方向に進む可能性があった。先程の看板まで降りて来る。この近郊の民家の人に教えて頂き、やっと14時21分、高野川駅に到着できる。駅は高台の道路下にあった。この駅は本年5月に踏破した海浦駅（肥薩おれんじ鉄道）に似た感じの駅であった。



ふたみシーサイド公園 高野川駅

この駅から海岸線を離れる。暫く山間を歩く。14時21分、松山方面に救急車が通過して行く。山間のため、風も出て来る。ペットボトルがなくなる。しかし、中々自動販売機がなし。14時54分、自動販売機を見つけ安堵する。傘をしまう。15時41分、伊予鉄バス停（三秋口）前を通過。15時56分、前方に高架されたJR線を見つける。16時2分、向井原（むかいばら）駅には16時2分到着。



向原駅

この駅から内子線が接続していた。駅は高架されていた。暫く高架の線路が続く。16時8分、Ipodの電池切れとなる。16時12分、松山14kmの看板（国道56号線）を見つける。16時31分、尾崎踏切を横切り、鉄道の左側に出る。再度国道378号に合流する。16時38分、24分前と同じ松山までの距離（14km）の道路標識前を通過。伊予市1kmとあった。16時53分、伊予市駅に到着。



松山 14 km 伊予市駅

近くに伊予鉄道の郡中港駅があった。17時13分、そろそろ鳥ノ木駅だと思い、第1郡中踏切を横切り、鉄道の右に出る。しかし、ここから意外に遠く、くねくね路地を通り、鳥ノ木駅には17時22分到着。この駅の近くには水田が広がっていた。ここから鉄道に沿った路がなく、鋸型に歩くことを余儀なくされる。17時38分、埜山神社前を通過。伊予横田駅には18時5分到着。



郡中港駅 鳥ノ木駅



伊予横田駅

18時6分、八幡浜行の電車と対面する。18時38分、西日を見ながら歩く。北伊予駅には19時到着。辺りはすっかり暗くなる。ここから5.9km先の松山を目指すことにする。今朝来る時に、松山から市坪の間に川があることは承知していたが、北伊予駅から市坪駅の間にあることは、インプットされていなかった。それ故、多少無駄の動きを余儀なくされる。市坪駅の両脇に川があることから、迂回のため4km遠回りを余儀なくされた。19時20分、北伊予行バスと対面する。19時48分、中川原橋(625歩)を渡る。市坪駅には20時12分到着。



北伊予駅 市坪駅

駅前には坊ちゃん球場（ドーム）があった。20時17分、杓子田橋を渡る。20時33分、松山中央公園橋（177歩）前に到着。不案内と暗闇のため、30分位遠回りをする。21時20分、魔王で夕食とする。20分位休んで、松山駅を目指す。



松山駅

21時49分、藤原町踏切を横切る。恐らくこの踏切がJR線なので、この鉄道に沿って歩けばJR松山駅であった。21時55分、伊予鉄道の千舟町第3踏切を横切る。松山駅には22時13分に到着。ここでの万歩計は91,495歩であった。22時以降路面電車がいないため、ここからホテルまで歩くことにする。松山市駅からの路面電車はあり。ホテルには22時54分到着。万歩計は95,392歩をマーク。活動時間、万歩計はこれまでで新記録となった。営業キロは38.7kmであった。非常に疲れたが、充実した1日であった。ホテルで祝杯を上げ、バタンキュー。

第4節 3日目：8月16日（金）：今治～柳原 晴れ

今治（8:40）～波止浜（10:00）～波方（10:47）～大西（12:21）～伊予亀岡（14:18）～菊間（14:32）～浅海（16:59）～大浦（17:50）～伊予北条（18:51）～柳原（19:30）

5時半頃目が覚める。本日の作戦を練る。当初は松山から30数キロ先の伊予亀岡辺りを考えていたが、急遽今治まで行き、松山に向かって歩くことにする。朝風呂に入り、ホテルロビーを6時半から撮る。東横インの通常は7時からであるが、松山では6時半からであり助かる。他にどこかの東横インでも6時半からのところもあったが度忘れする。ホテルを6時54分に出て、何とか松山駅7時23分発の今治行に間に合うようにする。しかし、誤って松山市駅前行きに乗る。南堀端駅で下車すれば問題はなかったが、その駅すぎてから間違った電車に乗ったのに気付いたため、ブザーを押しても時既に遅し。終点の松山市駅前（7時10分頃）に到着する。300m位行き過ぎる。親切にも山田さんという運転手さんから乗り換えきっぷを頂戴するが、使用せず、ここから1km位先の松山駅までジョギングして、何とか7時23分の電車に間に合うように努力する。



東横イン界限

駅には7時20分頃到着し、当初予定の今治行の電車に間に合い安堵する。今治まで920円要する。昨日は大損（1,000円位のところ2,300円の運賃となる）と思ったが、敢えて青春18きっぷ2枚目を使用する。なお、今後の青春18きっぷの活用の段取りは、3枚目は明日、そして4枚目と5枚目は次の旅行であった。通常であれば、今治まで風景を見ながら乗車するところ、最近（8月4日愛犬セブンの誕生日）購入したばかりのスマートフォンを活用し、SMSメール処理をして臨む。不慣れなため、莫大な処理時間を要する。それ故、あっという間に63分先の今治駅に到着する。一昨日窓からのイメージに加え、地図を見た限り、昨日程は歩くのに難しくないと感じたからもある。



今治駅

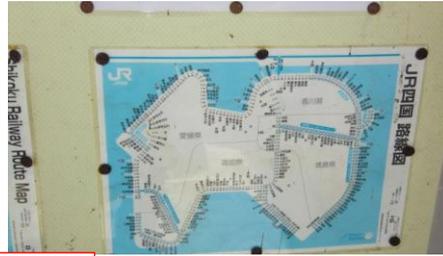


今治駅には 8 時 31 分到着。今治駅は高架したところにホームがあった。駅前をデジカメに収め、方向を見定め波止浜（はしはま）駅を目指すことにする。帽子下に濡れタオルを被り、今治駅を 8 時 40 分頃スタート。8 時 50 分頃から、鉄道に沿って百日紅の並木通りが続く。9 時、鉄道の高架が終了し、通常の路線となる。9 時 22 分もまだ百日紅の並木路が続いていた。9 時 25 分、右手大きな塔が見えて来る。この正体はわからず。9 時 40 分、傘をさす。10 時、本日最初の波止浜駅に到着する。



大きな塔 波止浜駅

駅前には大きな楠があった。10 時 38 分、鉄道と幹線道路の間（川に沿って）を歩く。10 時 45 分、フクロウと豚の石像がある木村石材展示場前を通過。10 時 47 分、波方駅に到着。幅 50cm 位の通路 50m 歩いた先にホームがあった。少し行った先の線路沿いに墓地があった。11 時 11 分、ゴルフの打ちっぱなしの広場になっている沢池（幅 100m 位）があった。200m 位のところでせき止め、ボールが拡散しないようにしていた。川を挟むと 1 km 近くあったらどうか。



波方駅



沢池

大西町へ

11時22分、大西町へ入る。11時28分、沢池の終点となる。11時26分、松山42km、北条25kmの道路標識を見つける。11時43分、県道15号（今治市大西町九王）前を通過。12時21分、大西駅に到着。



大西駅

駅舎を写すため、階段を回り込む。12時26分、駅の陸橋から松山方面の2両編成の車両を捉える。12時35分、ふれあい通りを右往左往する。道路には、草花等が描かれていた。12時36分、今治市立大西中学校前で行き止まり等を感じ、線路方面に引き返す。12時38分、大共浜踏切を横切り、鉄道の左側に出る。12時45分、曇り空となり、傘をしまう。風が少し出で瞬間的に涼しさを感じる。12時50分、大西踏切を横切り、鉄道の右側となる。海辺には大きなクレーンがあった。そして、大西小学校方面からラジオ体操が聞こえて来る。12時54分、大西町脇（県道15号：大西波止浜港線）を通過。



12時56分、曇り空から薄曇りとなる。13時15分、国道196号線に出る。13時18分、市道に入る。13時31分、私と同じような年恰好のお遍路さんと出会う。13時33分、国道に合流する。13時40分、松山36km、北条18kmの道路標識前を通過。ここからあいロードが暫く続く。14時1分、海岸線に出る。暫く風光明媚な瀬戸内海の海岸に堪能する。14時10分、そろそろ伊予亀岡駅と思い、国道が走る海岸線から民家が続く路に入る。暫く歩くと、前方に赤い炎の鉄柱が目に入る。ここから、この炎の正体を求めての歩きとなる。民家の人に尋ねたところ、「太陽石油で地下で不要になったエネルギーを燃焼させている」とのことであった。この回答を得て、“もったいない”ということを一瞬的に思いついた。14時18分、伊予亀岡駅に到着。



瀬戸内海が見える



松山 36 km 道路標識



瀬戸内海



赤い炎の煙突が燃える



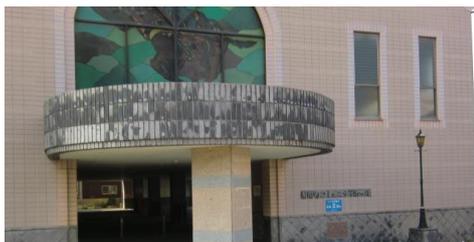
伊予亀岡駅

それにしてもやたらに駅名の頭に“伊予”が付くのに驚いた。駅から少しいった先に亀岡小学校があった。14時26分、出雲大社前を通過。前方に再度赤い炎が出現する。それを目がけて歩く。14時40分、国道に出で、赤い炎の正体の看板を見つける。「地下石油備蓄基地」とあった。そして、14時45分、この工場の企業名“太陽石油”をデジカメに収める。暫く工場の様子を観察しながらの歩きとなる。14時51分、この工場を後にする。



太陽石油

15時30分、立派なで贅沢な建物の菊間町コミュニティホール前に到達。そこから少し先に菊間駅（15時32分）があった。



菊間町コミュニティホール



菊間駅

駅舎は先程のホールと同様、非常に印象に残るユニークな建物であった。正に駅舎は人間の顔であると痛感する。15時45分、21番札所の寺でお参りと同時に乾ききったタオルを水に浸す。15時51分、クレーンを持つ作業船前を通過。暫く海岸線を歩く。16時29分、全長59mと記した砥鹿山（とかやま）トンネル前に到着。傍には小振りの砥鹿神社があった。16時42分、松山市に入る。16時47分、岡山行きの特急電車がトンネルに消えて行く。本日、明日にかけ特急電車の対面と追い越しに頻繁に遭遇する。16時48分、故郷の白山のような山を見つける。16時59分、浅海駅に到着。



21 番札所 砥鹿山トンネル



夕日の中の瀬戸内海 浅海駅

この駅舎もユニークであった。3 km先の大浦駅看板を時間から測定し運よく発見する。この駅の発見は松山方面からだと発見できないかも知れない。また、日没すると。17時50分、大浦駅に到着。



大浦駅

この駅は山間の所にあり、幹線道路からは発見するのは難しい駅であった。ある意味で

は、昨日の高野川駅と同様踏破に難しい駅と言えるだろう。看板を頼りに行ってもくねくね路地を歩くからだ。踏破しホットする。18時6分、道の駅“風早の郷”前を通過。海水を楽しんだ人達と出会う。18時12分、海岸線に日没に近い西日を目にする。18時21分、国道196号線で松山まで20kmの看板を目にする。18時32分、マルナカ北条店前を通過。18時36分、伊予鉄バス北条ターミナル前を通過。伊予北条駅には18時51分到着。



海水浴場 伊予北条駅

駅前には2頭の黒っぽい鹿の像があった。明日のことを考え、2.2km先の柳原駅を目指すことにする。地図を見る限り、路線はわかりやすく安全にクリアできると考えたからである。鉄道を気にしながら、日没した路を歩く。運よく民家の方に鉄道に沿った路を教えて頂く。幹線道路を歩くと、行き過ぎる恐れもあるからだ。19時30分、柳原駅に到着。



北条地区ガイドマップ 柳原駅

ここでの万歩計は71,910歩であった。柳原19時42分の電車で松山駅に向かう。本日は珍しく昼食を摂らずのウォーキングとなった。思えば、大西駅前のラーメン屋しかなかったような気がする。後は16時過ぎまで、飯屋なし。17時頃海岸線にうどんの店があったが、中途半端と先を急いでいる関係でパスする。伊予亀岡の先の峠に、たこ焼き、ソフトクリームのお店があったが。昨日と同様、本日も海の幸の店を探したが残念ながらなし。松山駅からは路面電車を使用せず、歩くことにする。ホテル前のCoCo壺番屋で野菜カレーとサラダを注文する。このあと、立ち飲み屋で地酒でも飲もうと考えたが、満腹で受け付けず。

ホテルには 21 時 10 分到着。ロビーで缶ビール等を購入し、本日の疲れを癒す。本日の営業キロは 34.2 km、万歩計は 77,480 歩であった。本日も充実した一日であった。

第 5 節 4 日目 : 8 月 17 日 (土) ; 松山～柳原 晴れ

松山(7:24)～三津浜(8:47)～伊予和気(9:57)～堀江(10:55)～光洋台(11:35)～栗井(12:10)～柳原(12:47)

朝 5 時過ぎに起床し、本日の作戦を練る。松山から自宅までのダイヤも視野に入れて。すなわち、「松山から歩く」か「柳原から歩く」かである。前者は時間がカットできるが、荷物を背負っての歩きとなる。後者は荷物をコインロッカーに預ける関係で軽く済むが、柳原までの所要時間に加え。電車で松山＝柳原で 20 分程度所要時間が必要となる。また、松山から光洋台までは鋸型に歩くことが想定され、相当の所要時間が必要と判断。検証結果、電車を選択する。結果は第一案に間にあい大成功であった。第一案は「松山発 13 時 4 分で高松着 18 時 32 分」、第二案は「松山発 14 時 58 分で高松着 19 時 52 分」であった。観音寺からの連結が悪く、ダイヤには制限された。それ故、3 日間で一番時間との戦いで厳しいウォーキングとなった。いつも最終日は恒例。メモ帳に駅名と営業キロ、柳原からの高松までのダイヤを時刻表から転記。一仕事を終え、朝風呂に入り、ロビーで朝食を摂り、ホテルを 7 時前に出る。今回のシリーズで ipod 用の充電アダプターを購入したため、パソコンからしなくても済み、時間の余裕ができた。勝山町駅には 7 時 1 分到着するが、7 時 10 分まで JR 松山駅はなかった。昨日誤った松山市駅前行はその前に 2 便あったが。



勝山町駅



松山駅

松山駅売店

松山駅には、7時24分到着。駅売店でお袋にお土産を購入してから、三津浜駅を目指すことにする。大きな幹線道路を暫く歩く。そして地図を確認し、JR線に近づくコースに切り替える。いいタイミングであった。7時55分、JR線を左手に見つけ安堵する。暫く歩くと、伊予鉄道の陸橋を越える。この辺りから地形が複雑となる。誤ると伊予鉄道の方面に向かう可能性があるからだ。8時17分、JR線、伊予鉄道、道路の交差点に差しかり、非常に神経を費やす。JR線が伊予鉄道の上を大きく迂回していた。とりあえず、JR線方向の路に沿って歩く。住宅地で袋小路のようなところを歩く。途中、高台にある墓地を通り、三津浜駅を目指す。複数の人にお世話になり、やっと8時47分、三津浜駅に到着する。



この辺りから方向転換

伊予鉄道が絡む



駅前には自転車の山であった。9時5分、三津踏切を横切り、鉄道の右側となる。暫く行くと山越え(9時7分)となる。森はひやっとして涼しい。9時10分、左手に4両編成の電車を捉える。1両編成が多いのであるが。9時15分、前方に故郷にある高仙山のような山を見つける。日差しが少し強くなり、雨傘をさす。水田が続く路を歩く。9時52分、和気第2踏切を横切り、鉄道の左側に出る。伊予和気(わけ)駅には9時57分に到着。



伊予和気駅

教会のような駅舎であった。10時16分、万歩計で56歩ある馬木橋(大川)を渡る。ここから、鉄道の陸橋が見えず。鉄道沿線には工場地帯が続いていたからである。方向性を誤ったダメのため、確認もあり、大川に沿って歩く。鉄道の踏切は見つけるが、鉄道に沿った路はなし。止むを得ず引き返す。13分位ロスする。往復で1km位はあったかも知れない。リカバリー地点には10時30分到着。数人のお世話になり、堀江駅にはやっと10時55分到着。



この踏切は渡らず引き返す

堀江駅

電車を再利用した駅舎であった。11時10分、やっと海岸線に出る。これで何とか13時頃柳原に着く目途がたつ。11時19分、トンネルが見えるので鉄道用と思ったら高速道路用であった。ここで国道347号線に表示がある今治36kmの看板を目にする。11時25分、前方に小船を見つける。11時29分、左手鉄道トンネルとなる。同時に光洋台がもう少し先と察知する。11時33分、今治まで35km地点で海鮮北斗というレストランがあった。小川というバス停先に、光洋台駅があった。



光洋台駅

この駅も柳原駅や大浦駅等と同様、格好たる駅舎はなかった。この駅は小川第2踏切を横切った先にあった。11時54分、お食事処“磯と河”あった。先を急いでいる関係でパスする。12時10分、栗井駅に到着。



栗井駅



柳原駅

後は、2km先に終着駅“柳原”であった。12時23分、中須賀第2踏切を横切り、鉄道の右側となる。そして、くねくねと鉄道に沿った路を歩き、片山第1踏切（12時37分）に到達。ここから柳原駅が見える。この踏切を横切って鉄道の左側となる。そして、柳原踏切を渡り、12時47分、柳原駅に到着。12時33分発の観音寺行き電車にもう少し早く着けば間に合ったのであるが。このダイヤはメモしていなかったのが残念。水分補給し、以下

の電車で自宅を目指す。伊予北条で15分程度停車時間があつたため、この駅で運転手（寺田）さんに、青春18きっぷにハンコをおしてもらふ。

柳原 13時27分 → 伊予西条 15時8分

伊予西条 15時31分 → 観音寺 16時37分

観音寺 17時31分 → 高松 18時38分



伊予北条駅 水の都西條駅



石鎚山PR（西條駅） 観音寺駅

高松駅からは琴電高松築港から18時52分の電車で実家へ。実家には19時41分到着。母親が首を長くして待っていてくれた。本日の営業キロは15.3km、万歩計は26,707歩だった。本日は、3日の中で最も疲れたが充実する一日であった。今回のシリーズも想定した通り、歩きが想定外に進み充実したシリーズであった。踏破時間が14時間超や万歩計が9.5件突破は新記録となった。